

講演会

「書簡からみる山田方谷と三島中洲 —新出の西三島家資料を中心に—」

近年、山田方谷と三島中洲に関する重要資料の発見が相次いでいます。

今回はその中から特に倉敷と縁の深い資料として、三島中洲の生家である中島村の庄屋西三島家の資料(二松学舎大学所蔵)から山田方谷と三島中洲の幕末期の書簡を中心に紹介します。

日時 令和 8年 3月 7日(土) 14:00~15:30 (開場13:30)

場所 倉敷市立美術館 3階 講堂 (〒710-0046 倉敷市中央2丁目6-1)

講師 二松学舎大学文学部 教授 町 泉寿郎(まち せんじゅうろう) 氏



平成4年 二松学舎大学文学部中国文学科卒業

平成9年 北里研究所東洋医学総合研究所研究員

平成11年 二松学舎大学 博士(文学)

平成15年 二松学舎大学文学部 教授(～現在)

二松学舎大学文学部教授, 文学博士。

専門は日本漢文学(15～19世紀の学芸史—儒学・医学中心)。

第六回日本医史学会学術奨励賞, 日本東洋医学会奨励賞など, 多数の受賞歴を持つ。

共著『渋沢栄一は漢学とどう関わったか』(ミネルヴァ書房)

共著『塩田地主野崎家』(京都大学学術出版会)

著書『近世日本医学史論考 I II』(武田科学振興財団)

定員 200名 程度

申込 電子申請にて事前申込要 (参加費 無料)

申込締切 令和 8年 2月 25日(水) 17:15 まで

参加申し込みはこちら

